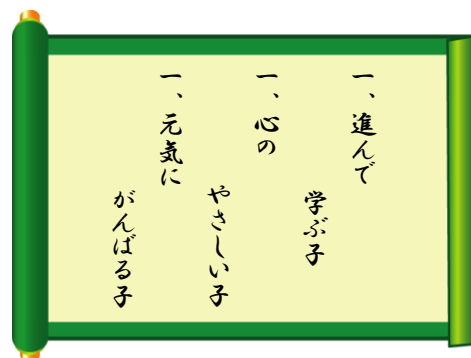


学習指導と家庭の教育力up！

南原小学校の学校教育目標は、次の3つです。

学校では「進んで学ぶ子」を育てるために
次の指導をしています。



毎日使う筆箱の中身をチェック！



学用品をきちんとそろえるように指導しています。

- ・筆箱はシンプルなものが1番。
- ・鉛筆は毎日削って5本程度入れておく。
- ・赤えんぴつ・青えんぴつ
- ・消しゴムはよく消える四角いもの。
- ・油性のネームペン
- ・学年に応じてプラス
15cm程度の定規, 三角定規, 分度器, コンパス など。

低学年では、次の日の準備をするときには、一緒に準備しましょう。一日の中に明日の準備をする時間を決めると、生活のリズムが生まれます。

高学年では、次の日の準備ができたかどうか、毎日決まった時間に声をかけましょう。子どもは、いつも見られているという安心感をもちます。

キレイな文字は、正しい鉛筆の持ち方から！



削り際の1cm上を軽くもつ
人差し指を鉛筆のたてのラインにそわせるように
たくさん書いても疲れません

お子様の宿題に目を通し、文字が乱暴なときには、丁寧に書くように一声かけ、書き直させてください。また、きれいに書いてあるときは、大いにほめてあげてください。子どもがほめてほしいときにほめてあげたいものですね。

背筋がのびると成績ものびる！？

〈メリット〉

- ☆ 長時間の勉強で疲れにくい
- ☆ 集中力が持続する
- ☆ 目が疲れにくい

おなかと背中に
ゲーひとつ
足は床につける
顔を机に近づけすぎな
...



正しい姿勢で座っていることができれば、おおいにほめてあげてください。
きまりを守って生活している子どもは、勉強に対しても意欲的な傾向があります。

「家庭学習」の習慣は小学生のうちに！

南原小学校では、1年生から6年生まで、家庭で自分から進んで学習するノート「みなチャレ」に取り組んでいます。

- ①学習に取り組んだ日付や時間を記録する。
- ②まず「宿題」をやる。次に自分で内容を選んで学習する。
- ③お家の人にコメントを書いてもらう。

この3ステップで家庭学習の習慣を育てています。



家庭学習の時間が長い子どもは？ こんな傾向が見られます。

自分から勉強する。朝食をしっかり食べる。ゲームをする日が少ない。乱暴な言葉をつかわない。

「みなチャレ」ノートを必ず確認し、子どものがんばりを認めてあげてください。
子どもは、ほめてあげると学習意欲が高まります。また、間違えた問題をやり直しさせるときに、となりについていてあげることが意欲向上に効果的です。

読書経験こそ子どもたちの財産！

朝の読書活動・学校図書館の貸し出し・読み聞かせボランティア「めだか」さんや図書委員会児童による読み聞かせ・移動図書館・読書週間の実施など、読書に親しませる活動を行っています。

移動図書館



読み聞かせ



栃木県では、家族で読んだ本について話し合ったり、好きな本を紹介しあったりするなど、読書習慣を共有し、コミュニケーションを図ること＝「家読(うちどく)」で、読書活動の活性化と家族の絆を強める取組をしています。

そこで家庭では・・・

生活のリズムづくり、子どもの心を育むには、大人の働きかけが大切です。子どもとの関わり方としては、「傾聴」「称賛」「指導」の3つが大切です。子どもからの信頼を得るには、

- ・子どもの話をよく聴くことは、子どもが自分のことを分かってくれていると思う信頼感につながります。
- ・時には、大切なことを厳しく指導することも、子どもからの信頼を得ることにつながります。

大人同士の連携を作るには、

- ・学校や地域の行事に積極的に参加するなど、相互理解を深めることが大切です。
- ・保護者だけでなく、地域の人からの声かけや称賛は、子どもの心を育てます。

学校と家庭が同じ指導をすることが効果的です！

